

泉穂のいまどき恋愛講座

丸岡泉穂



突然ですが、「スマートな男性」って、ホント、少ないというか、ほとんどお目にかかれないと思いませんか？

そりゃあ、ルックスのことだけを言うなら、そもそも格好良く決める男のこなんかに、すれ違ひざま「あらーん、素敵なお目か合ったらどうしよう」ってなんて興奮することは、まあたまにはあるかもしれないけど、実際、しばらく一緒に過ごしてみると、彼がホントはちょっともスマートな男のこなんかじゃ無いってことが、まるわか。

日本の男のコレ、ほんんと、気がきかなくて、イヤになっちゃうわ、と思ってる女のコレ、多いのではないかしらん。

デートの時、ちよっと下アを

開けてくれるとか、重そうな荷物を持っていたら手を差し延べてくれるとか、そういうことをさりげなくできる男のコレ、どうしてないのでしょうか。

それどころか、朝の通勤ラッシュなんかでは、悲惨よ！主要駅なんかでみんながドッと降りるでしょ。そういう時、女のコレが洗濯機の中のストッキングみたいに、もみくちゃにされてることを存じし。

何度思ったことが、この腐るほどいる（一応見かけはスマートな）ピジネスマンたちの中に、どうして女のコレを先に通そうとか、彼女たちがよれよれにならないように、気を使う人がいないのよ！！って。

この答えを私は長年の研究によって、引き出したのである。それは、日本の男のコレには伝統的な『武士道精神』が、根づいてるからだ。

たしか、武士道では「女性を敬い大切にしろ」なんてことは唱えられていなかったでしょ。むしろ、女たちの方こそ、武士である強い男たちのために、尽くさなければならぬって感じじゃん、じゃん。

そして、「女性を敬い、大切にすること」を主張しているのが西欧の『騎士道』なのである。ほーら、やっぱりね。西欧の男のコレには、ナイトの精神が生

きているよ。それで、あんなに、スマートなんだわよ。

知ってるアメリカでは、男のコレはもう10歳で、階段を昇る時は女のコレの後ろにつき、降りる時は前を歩くのだそう。つまり、女のコレが転んだ時に、ちゃんと支えてあげられるように、立けるじゃありませんか？

10歳の男のコレがよ／＼で、女のコレをさりげない形で守ろうとしているなんて！

私も何も、女のコレをちやほやしろって言うてるわけではありませぬ。でも、もう少し、気を使ってくれてもよいのではないだろうか。少なくとも、あなたが、見た目はスマートな男のコレであるなら、なおさらのこと。

見かけ倒しはもうやめて、本当に女のコレに対して、優しく、さりげなく、支えてあげられる立派な男になるうじやないの。通勤ラッシュで、女のコレを背中から押し出すんじゃないよ、相撲がブームだからって。私はムチウチになったことがあるんだからね／＼背中から、強く押されて、あれは確か、そこそこ若いピジネスマンだったぞ。

とまあ、個人的な怒りを爆発させてしまったけれど、やっぱり、女のコレにとって、大切に扱われることは、いくつになっても嬉しいものよ。そして、そうされること、女のコレを大切にケア

するものです。結局、循環するのよね。こういう思いやりって、ところで、優しく、ところところについて、まご／＼一言。

『優しく』を勘違いしている男のコレ、多いわよ。

「オレって、自分からさよならがでかへんねん。彼女が傷つく顔、見たくないもん」なんて言ってる、オレって、優しいんだよね」と自分に酔うヤツ。お願い、いっぺん、死んで。

あなた、自分が悪者になりたくないだけでしょ。気が持ちは冷めてるのに、自分からはサヨナラできない、なんて、かえって失礼なのよ。

また、こういう場合もあります。二人の女のコレの間で揺れる男。オレって、どっちにも決められへんわ。どっちも好きやし、どっちかを捨てるなんて、やっぱりできひんわい。

聞いて。この場合、苦しくても、どちつかを捨てる（という表現は嫌だけど）べきなのよ。それが本当の優しさというものはないでしょ。か。期せずして、他に好きな女のコレができてしまうことは仕方ないと思っても、そのことを、できるだけ早い段階で、きちんと相手に伝えることが、本当に誠意のある行動じゃないのかなあ。

それから優しさは「甘やかす」こととも違つんだからな。

「お誕生日にハワイに連れて行ってね」とおねだりされて、旅行代理店に直行してしまっただけ、それは優しいとはいいません。なぜなら、あなたの両親は、あなたをとても愛していたでしょうけれど、全てあなたの思いを叶えてくれた、という訳ではなかったでしょ？ 本当の優しさは、ちよっぴり厳しいものなのよ。

おねだりさえすれば、何でも手に入る、と女のコレが思い込んでしまつことは決して良いことではないはず。彼女自身にとっても、そしてあなたにとっても、かつて女のコレへの「貢ぎ物」がどんどんと高価になっていった時期がありました。

あれは男のコレたちの『勘違いの優しさ』が、女のコレたちをどんどん『いい気』にさせていったからなのです。

つまり、あなたの勘違いの優しさは、あなた自身の財布を軽くしてしまつたことなのです。くれぐれも、お氣をつけてくださいませよ殿方たち。

プロフィール 1965年生まれ。同志社女子大学卒、株電通プロダクションを経て現在「ローライター」のほかにFMラジオ番組のシナリオや出演もこなす。著書に「あふれた無邪気が罪になる」(PHP研究所)、キヌまで、待てない(大和書房)など。